

平成18、19年度
連絡橋高欄照明改修工事
(関西国際空港連絡橋)



所在地：大阪府泉佐野市～関西国際空港島
 施工主：関西国際空港(株)
 施工工：建電設備(株)関西支店
 橋長：全長3,750m
 照明改修：平成20年2月完了

安全な夜間走行を確保するため
「低位置プロビーム方式」を導入

関西国際空港連絡橋は大阪府泉佐野市のりんくうタウンと関西国際空港島を結ぶ、橋長3,750mの世界最長のトラス橋で、1日平均約2万台の車両が往来する空港への唯一の陸上のアクセスを担っています。この連絡橋をより安全に夜間走行ができるよう中央部分1.8km区間が、従来の蛍光灯の高欄照明から「低位置プロビーム方式」に照明改修されました。この方式は、障害物に光源を照射し、暗い路面を背景に障害物が明るく浮かびあがる“逆シルエット視”を利用したもので、より遠方の障害物の発見がしやすく、夜間の高速走行の安全性を向上させます。また降雨時や濃霧時には低位置プロビーム照明に加え、高欄照明を全点灯することで安全を確保しています。



低位置プロビーム方式 進行方向へ向けて照射させることにより運転者に眩しさを与えないだけでなく、逆シルエット効果により障害物の発見がしやすくなる



全点灯 降雨時や濃霧時には全点灯にして安全を確保する 器具アップ 12.5m間隔で片側145台計290台を設置している

主な照明器具一覧				
仕様	形名	電圧	台数	ランプ
低位置追跡照明器具(海側)	HWK-03512SPC-ZL	100~240V	290	35Wセラミックメタルハライドランプ ネオセラ MTS35CE-LW/G12
低位置追跡照明器具(中分側)	HWK-03512SPC-ZR	100~240V	290	35Wセラミックメタルハライドランプ ネオセラ MTS35CE-LW/G12